

記者発表資料

平成 25 年 10 月 11 日
 国土交通省
 鹿児島国道事務所

鹿児島東西道路（鹿児島 IC～建部 IC 間）の開通後の交通状況〔速報〕

鹿児島東西道路の開通後、従前の武岡トンネルに比べ
 武岡・新武岡トンネルの交通は約 3,000 台増加（約 1.1 倍）
 ～ 並行する（主）鹿児島東市来線の交通量は約 17% 減 ～
 鹿児島西 IC～建部神社前交差点の走行速度が向上

【概要】

国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所が整備を進めている鹿児島東西道路が平成 25 年 9 月 29 日（日）16 時に開通しましたので、交通量及び走行速度についてお知らせします。

【交通量調査速報】 単位：台／12 時間（7:00～19:00）

交通量の変化

◆開通後、鹿児島東西道路は約 1.12 倍、（主）鹿児島東市来線は約 0.83 倍

	①開通前	②開通後	③増減率
I 鹿児島東西道路	約 22,000	→ 約 24,700	→ 約 112%
II （主）鹿児島東市来線	約 8,500	→ 約 7,100	→ 約 83%
計（I + II）	約 30,500	→ 約 31,800	→ 約 104%

※開通前 H25.9.5（木）、開通後 H25.10.1（火）

【走行速度の速報】 単位：分

所要時間の短縮

◆新武岡トンネルの開通後は、建部神社前交差点を先頭とした渋滞が緩和され、所要時間が短縮されました。

		①開通前	②開通後	③増減
I 鹿児島西 IC	→ 建部神社前交差点	約 11 分	→ 約 6 分	→ 約 5 分
II 中洲通り交差点	→ 建部神社前交差点	約 6 分	→ 約 4 分	→ 約 2 分

※開通前 H25.9.5（木）、開通後 H25.10.1（火）

※今後、引き続き開通による効果について調査・分析を進めます。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所

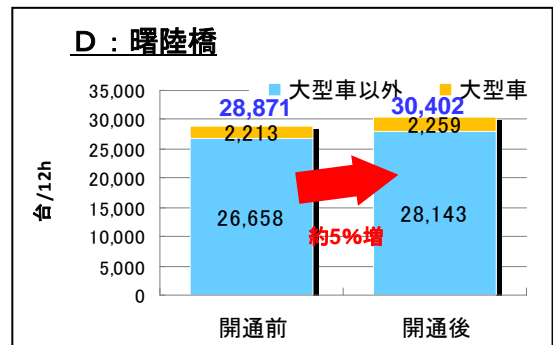
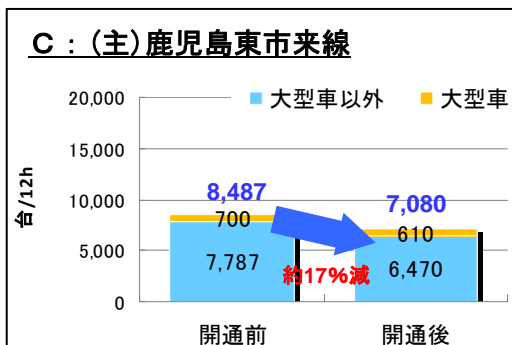
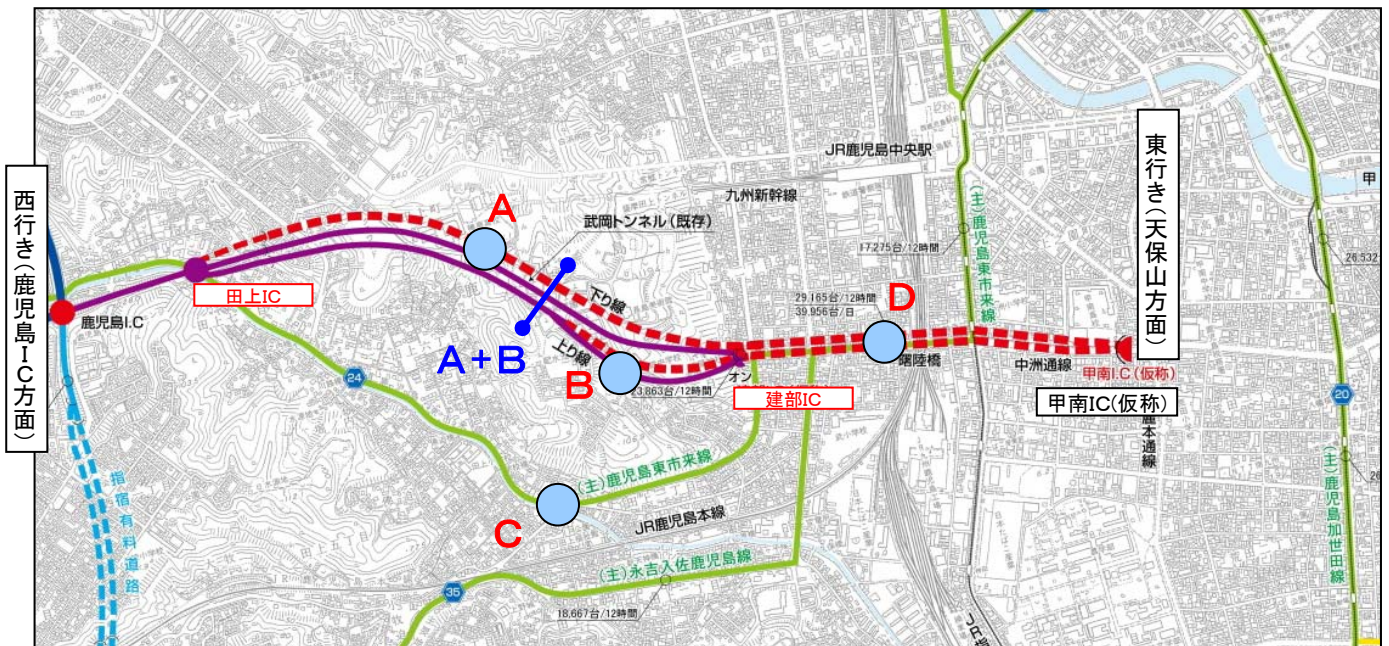
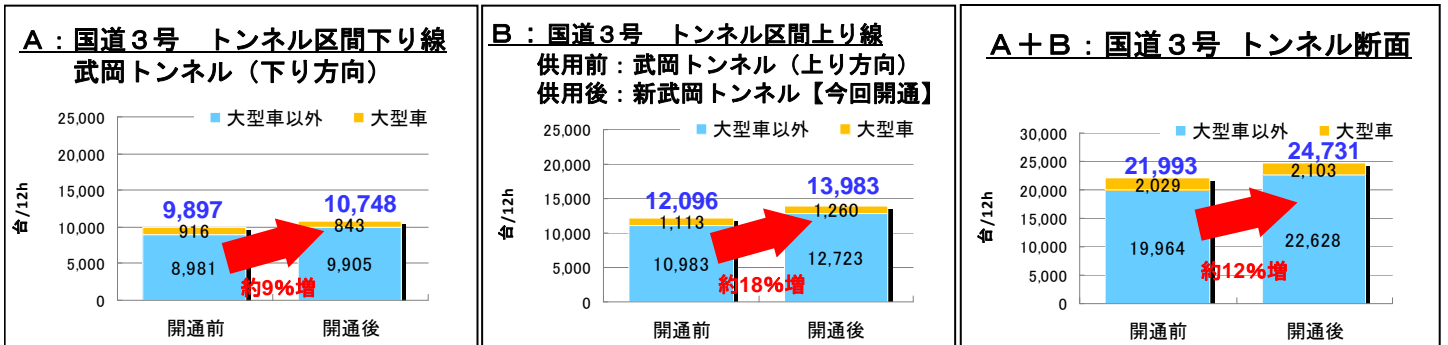
TEL：099-216-3111（代表）

技術副所長 堀 康雄（内線 204）

調査課長 上田 草紘（内線 451）

鹿児島東西道路（鹿児島IC～建部IC間）の開通後の交通量

- 今回開通区間の開通1週間後の交通量は、新武岡トンネル（上り）が13,983台/12h、武岡トンネル（下り）が10,748台/12hとなり、トンネル断面の交通量は24,731台/12hと開通前の約1.12倍となっています。
- 鹿児島東西道路と並行する（主）鹿児島東市来線の交通量は0.83倍と減少しています。
- 曙陸橋部の交通量は、1.05倍と増加しています。

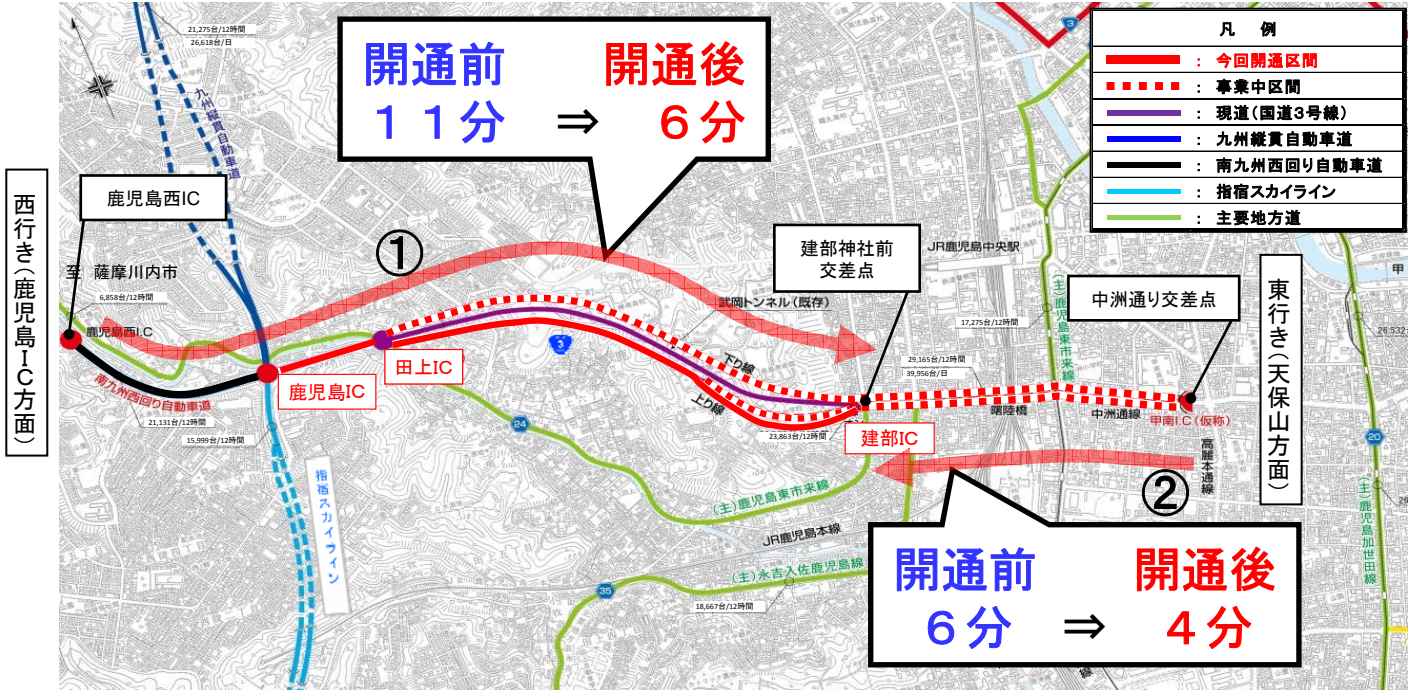


調査日) 開通前：平成25年 9月 5日（木）7:00～19:00
 開通後：平成25年10月 1日（火）7:00～19:00

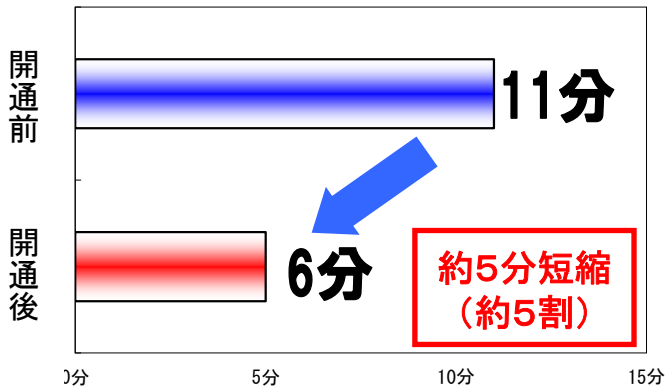
交通量) 平日12時間の断面交通量の比較

所要時間の短縮

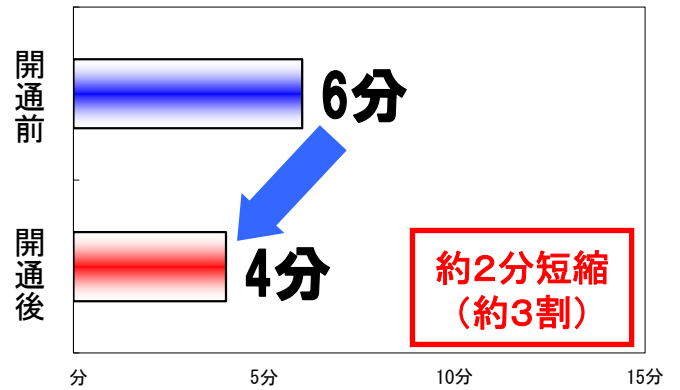
- ①鹿児島西 I Cから建部神社前交差点間の所要時間が**5分短縮**、
- ②中洲通交差点から建部神社前交差点間の所要時間が**2分短縮**されました。



▲ 鹿児島西 I C～建部神社前交差点間
中洲通り交差点～建部神社前交差点間の所要時間



▲ 時間短縮効果
(鹿児島西 I C～建部神社前交差点間)



▲ 時間短縮効果
(中洲通り交差点～建部神社前交差点間)



▲ 開通後の建部神社前交差点

※開通後は、H25. 10. 1の実測結果による
(朝夕ピーク時の実走行結果)